



請願第28-3号

犬及び猫の不妊去勢手術助成金制度の創設を求める請願

紹介議員

橋本良一 (橋本)

畑岡洋二 (畑岡)

西小猛 (西山)

大関久義 (大関)

犬及び猫の不妊去勢手術助成金制度の創設を求める請願

請願の趣旨

犬・猫に繁殖制限措置を行うことを啓発するために、笠間市による犬及び猫の不妊・去勢手術助成金制度の創設等を要望致します。

理由

現在、日本では年間 50,000 頭以上もの犬・猫が行政処分されています。飼い主の知識不足により繁殖し、放置・遺棄された犬・猫は、その多くが殺処分や路頭に迷う運命にあります。ボランティア団体や個人による懸命の保護活動にも関わらず、見捨てられる犬・猫の数は一向に減りません。

このような状況が、人間社会に与える影響は深刻です。多数の犬・猫を処分するために、各自治体では公費が費やされています。幼児や青少年に与える影響を考えても容易に殺処分することから、命を慈しみ共に生きることへと発想を転換していくべき時期ではないでしょうか。平成 12 年 12 月 1 日より施行された「動物の愛護及び管理に関する法律」においても、命の尊厳が重要視され、「動物が命あるもの」であり、「人と動物の共生」がうたわれています。

犬・猫の殺処分数を減らすために、繁殖を制限し、遺棄を未然に防止することが不可欠です。「動物の愛護及び管理に関する法律」第 4 章 37 条においても、犬・猫の飼い主に繁殖制限措置を行うよう努めることが明記されています。

犬及び猫の不妊・去勢手術助成金制度は、処分頭数を確実に減らせる制度であり、茨城県内では、12 の市町で助成金制度を実施しています。崇高な理念に立ち笠間市による犬及び猫の不妊・去勢手術助成金制度創設をここに要望致します。

要請項目

1. 犬及び猫の不妊・去勢手術助成金制度を創設されたい。

平成 28 年 5 月 18 日

笠間市議会議長 藤枝 浩 様

請願者

住所

氏名

住所

氏名

住所

氏名

住所

氏名

